

令和元年6月28日現在

機関番号：34416

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2016～2018

課題番号：16H03649

研究課題名（和文）経済発展における重層的決済システムの役割と近代銀行史の再考

研究課題名（英文）The Contribution of the Multiple-Payment System on the Economic Development :
The Modern Banking History Revised

研究代表者

西村 雄志 (Nishimura, Takeshi)

関西大学・経済学部・教授

研究者番号：10412420

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 12,400,000円

研究成果の概要（和文）：これまでの先行研究が強調してきた中央銀行制度に支えられた近代銀行業を導入することによる決済システムの効率化は、多くの実証研究で明らかにされてきたが、主としてアジアやアフリカの事例を捉えた時、それだけでは説明できない事実が見出された。そのような問題関心から、アジアやアフリカだけでなく、イングランドやオランダ、日本についても幅広く先行研究の再検討を図り、結論としてこれまでの先行研究が「副次的」あるいは「インフォーマル」として重要視してこなかった各々の地域で伝統的に培われてきた慣習や文化に根ざした決済システムの方から近代銀行業あるいは中央銀行制度の形は規定されていたと考えるに足る成果が得られた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

先行研究では、決済の役割を銀行制度の機能と結びつけて議論されることが多かった。換言すれば、中央銀行の導入により銀行制度が整備されて整備されることによって決済も効率化されていくという議論であった。しかし、アジアやアフリカの多くの地域において、銀行制度の導入が現地の経済活動を活発にしているとは言えない。

ここでは現地の文化や慣習に根ざした伝統的な決済システムの役割に再び焦点を当て、銀行制度や中央銀行制度の導入が決済の効率化を達成するのではなく、こうしたインフォーマルな決済システムと銀行制度がどのように関係性を構築するかが大切であると強調する。こうした視座は現在の金融を考える上でも有益と言える。

研究成果の概要（英文）：Most of the previous studies emphasize that the development of the modern banking backed by the central banking system have been able to promote to improve efficiency in the several kinds of payment systems. Mainly, in the cases of European countries and Japan, these previous studies have been accepted. However, in the cases of Asian and African regions, the payment systems have not been always able to be improved efficiency in various economic and commercial transactions by the introduction of modern banking backed by the central banking system. Therefore, this project tried to show the nature of the payment system not only in the regions of Asia and Africa but also in European countries and Japan, and refined the functions of the payment systems from the viewpoint of the informal payment system. Informal systems mean the local and regional payment system based on the traditional culture and customs. In conclusion, we can find the crucial functions of the informal payments.

研究分野：近代アジア経済史

キーワード：決済システム 近代銀行業 経済発展 インフォーマル

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

決済システムに関して議論する時、その多くが銀行制度との関係で議論されてきた。特に中央銀行制度がヨーロッパだけでなく世界各地で成立した19世紀以降は、中央銀行の役割と近代銀行業の機能を基にして決済の役割を位置付ける議論に焦点が絞られる様になり、それまで各地域で伝統的に醸成されてきた決済システムの機能と役割について議論されることが少なくなっていた。こうした伝統的な慣習や文化に根ざした決済のあり方については、「インフォーマル」なものとして捉え、むしろ銀行制度をはじめとした「フォーマル」なものに収斂されるべき存在として議論されてきた。本研究はこうした「インフォーマル」と認識されてきた世界各地の決済システムの役割に再び焦点を当てると共に、むしろこれまでの先行研究が「インフォーマル」であり、銀行制度の下に再編されるべき、と認識されてきた伝統的かつ地域の慣習や文化に基盤を持つ決済システムがむしろ、新たに導入された銀行制度の姿を規定したと仮定して議論を始めることにした。

2. 研究の目的

中央銀行制度をはじめとする銀行制度が導入されることがその地域における決済の効率性を最も高める唯一の政策的手段と捉える研究は、ヨーロッパ経済史だけでなく日本経済史でも大勢を占めている。イングランド銀行や日本銀行の成立こそが近代国家として経済発展を遂げていく上で必要とされる決済システムを整備するために不可欠であるとする研究は、未だに多く見受けられる。しかしながら、アジアやアフリカの事例を見る限り、中央銀行制度をはじめとする銀行制度の導入が、地域の経済活動における決済を必ずしも効率化させることに成功していないことが実証的に明らかにされている。更には、日本においても明治期後期になっても日本銀行や近代銀行よりも地域の有力商店の信用の方が高いまま存在しており、日本銀行や近代銀行が利用されていない地域が各地に存在していたことも最近の研究によって明らかにされている。そして何より最も近代銀行業の役割が強調されてきたイングランドにおいても、イングランド銀行の支店網の拡大によって決済システムの効率化が達成されたというこれまでの議論の幾つかの主要論点が、多くの一次資料を駆使した昨今の研究で再修正が迫られている。このように銀行制度の役割をあまりにも大きく捉えすぎているこれまでの先行研究に対して、彼らが「インフォーマル」と副次的に考えてきた決済システムに再び焦点を当てることで、逆に伝統的な文化や慣習に根ざした決済システムこそが、現地における近代銀行業の業務の姿を規定していたと考える。

3. 研究の方法

研究代表者をはじめとして研究分担者ならびに海外の研究協力者が各々の地域を対象として、上記の問題関心から実証的な研究を進める。なお研究分担者の杉原と研究協力者のP. Hudson氏とM. Metzler氏にはグローバル・ヒストリーの視座から各研究の相互の関係性や位置付けをして頂く。その上で年度のうち1回は必ず国際ワークショップを開催してペーパーを持ち寄って議論を進める。その上で各論文を1冊の論文集として刊行するための準備を進めるとともに、2018年の夏に開催されるWorld Economic History Congressに参加して成果を各国の研究者からコメントやアドバイスを受ける予定にしている。

4. 研究成果

国際ワークショップに関しては、2016年度から毎年1回の予定で開催できた。関西大学を会場として2回、そして2018年の7月にボストンで開催されたWorld Economic History Congressにも参加して各自自らの研究成果を報告した。これらの成果に関しては、各々が自らの論文として発表しており、また様々な学会等の場でも成果として報告している。これらの成果は以下のリストを参照して頂きたい。なおボストンで発表したペーパーに関しては、現在イギリスの出版社と論文集の刊行に向けて相談を始めている。無事に契約が整えば、速やかにペーパーの改訂作業を始め、1日も早く成果を発表したいと考えている。そして内外の研究者とともに決済システムについて、新たな解釈で議論していければと考えている。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計10件)

- 1) Kawamura, Kohei, Yohei Kobashi, Masato Shizume and Kozo Ueda, "Strategic Central Bank Communication: Discourse Analysis of the Bank of Japan's Monthly Report," *Journal of Economic Dynamics and Control*, vol.100, March 2019, pp.230-250. 査読有
- 2) 杉原薫「開発主義の環境史的基盤 臨海工業地帯から内陸部への歴史的移動を考える」『学術の動向』23(2)、2018年、52-55ページ。査読無
- 3) Masaki T., "Weights of Money, Credibility and Sphere of the Money Circuit: Observations Through a Monetary Evolution in West Africa", *Discussion Paper Series*, Faculty of

- Economics and Management, Kanazawa University, No.44, 2018. 査読無
- 4) Sugihara K., “ Monsoon Asia, Industrialization and Urbanization: The Making and Unmaking of the Regional Nexus”, *RIHN 11th International Symposium Proceedings ‘Asia’s Transformations to Sustainability: Past, Present and Future of the Anthropocene*, 2017, pp.67-99. 査読無
 - 5) 杉原薫「アジア太平洋経済圏と中国の台頭 歴史的展望」『21世紀ひょうご』21号、2017年、93-103ページ。査読無
 - 6) 加藤慶一郎「第225回産業セミナー 鈴木商店の半世紀の歩み：1874-1927」『関西大学経済・政治研究所 セミナー年報』2017年、109-119ページ。査読無
 - 7) 石川亮太「韓国保護国期(1905～10)における華商の活動：駐韓清国領事館「商務報告」から」『佐賀大学経済学論集』49(4)、2017年、27-38ページ。査読無
 - 8) Nishimura T., “A Preliminary Investigation into the Activities of the Hongkong and Shanghai Banking Corporation in Nagasaki during the Meiji period”, *Kansai University Review of Economics*, 19, March 2017, pp.9-26. 査読無
 - 9) 加藤慶一郎「日本近世の私札：摂津国伊丹郷町を中心に」『社会経済史学』81(4)、2016年、503-518ページ。査読有
 - 10) 西村 雄志「明治期の大阪・神戸における外国銀行の役割」『関西大学経済・政治研究所 セミナー年報』2016年、103-117ページ。査読無

〔学会発表〕(計41件)

- 1) Ishizu, M. “Bill of exchange as money in industrialising Lancashire” Economic History Society Conference, Queens University Belfast, UK. 7th April 2019.
- 2) Shizume M., “Money Doctors and the Monetary Reform Debate During the late 19th Century in Japan,” Workshop on “Crises, money doctors and reforms: Critical moments in the development of modern monetary systems,” co-organized by Andrés Alvarez (Universidad de los Andes), Vincent Bignon (Banque de France), Anders Ögren (Lund University), Masato Shizume (Waseda university), Paris, France, March 2019.
- 3) 鎮目雅人(座長・組織者)「前近代の日本における貨幣の発行と流通」日本金融学会全国大会、名古屋市立大学、2018年10月
- 4) Shizume M., “Working of the Banking Networks and Central Bank in Late 19th Century Japan,” Economic History Association Annual Meeting, Montreal, September 2018.
- 5) 加藤慶一郎「前近代の日本における貨幣の発行と流通 小規模藩による紙幣の発行」『日本金融学会』、2018年9月。
- 6) Masaki T., “Credibility, Transaction Costs, and the Number of Monies in an Economic Sphere: A view of difficult transitions from multiple to a single currency in West Africa”, 18th World Economic History Congress, Boston: MIT, 30th July 2018.
- 7) Shizume M., “Commodity Flows and the Payment System during the Edo Era,” World Economic History Congress, Boston, July 2018.
- 8) Shizume M., “Industrial Policy, Equity Finance and the Bank of Japan in a Historical Perspective,” World Economic History Congress, Boston, July 2018.
- 9) Shizume M., “A Debate on the Monetary Reform during the late 19th Century in Japan,” World Economic History Congress, Boston, August 2018.
- 10) Shizume M., “The Use of Money in Japan in Light of Space and Anonymity,” World Economic History Congress, Boston, August 2018.
- 11) Ishizu, M. “A nexus of payment systems in industrialising Lancashire” World Economic History Congress, MIT, Boston USA, 2018.
- 12) Nishimura T., “Transformation of Currency Systems and Role of Banknotes: Case Study of the Activities of British Banks in Siam, 1888-1913”, World Economic History Congress, MIT, Boston USA, 1st August 2018.
- 13) Nishimura T., “The transformation of informal payment systems under the modern banking system in the British India during the 1920s and 1930s”, World Economic History Congress, MIT, Boston USA, 30th July 2018.
- 14) Nishimura T., “Activities of the Foreign Banks in Japan during the Meiji-Era”, 43rd Annual Economic and Business History Society Conference, Jyväskylä, Finland, 31st May 2018.
- 15) Shizume M., “Working of the Banking Networks and Central Bank in Late 19th Century Japan,” Financial History Workshop, Université Libre de Bruxelles, June 2018.
- 16) 加藤慶一郎「日本近世における紙幣の生成と展開 18世紀の私札を中心に」近世中期の私札 - 摂津国平野郷町を中心に」『社会経済史学会第87回全国大会パネル・ディスカッション』、2018年5月。
- 17) 石川亮太「朝鮮開港直後の貿易商品について」『開港期 朝鮮を中心とする「交隣」の総合的研究』・東アジア世界秩序での朝鮮の「交隣」第1回日韓合同シンポジウム』東国大学校、韓国ソウル市、2018年4月21日。

- 18) 杉原薫「資源ネクサスの大転換 アジアから展望するグローバル・ヒストリー」第15回一橋大学関西アカデミア シンポジウム『アジアにひらく関西と日本：その過去、現在、未来』大阪：新梅田シティ、2018年2月17日。
- 19) Masaki T., “A historical transition of the compte d’opération: From a payment system to an operating account of foreign reserves in the French colonial empire”, WEHC2018 pre-conference session, Osaka: Kansai University, 16th December 2017.
- 20) Ishizu, M. “Payment systems during the industrialising Lancashire”, Workshop Multiple payment systems in globalising economies. Kansai University, Osaka, Japan, 2017.
- 21) Sugihara K., “Comments on Multiple Payment Systems in Globalizing Economies”, Pre-Conference of the World Economic History Congress 2018 Boston, Osaka: Kansai University, 15th December 2017.
- 22) 杉原薫, “Consolidating India’s Trade Statistics, c.1800-1890: Notes on Sources with special reference to Administration Reports”, 『植民地期インドにおける外国貿易・国内交易・物価の長期趨勢と変動：統計的研究』[京都大学南アジア地域研究拠点(KINDAS)グループ1-B「開放性と多様性のなかの経済・社会：植民地期インドを焦点にして」研究会と共催]』京都：京都大学、2017年11月18日。
- 23) 石川亮太「
：
(開港期の日本人出漁と釜山)」『
(近代釜山港と東アジアの
水産業：研究交流とネットワークの形成)』釜慶大学校、韓国釜山市、2017年9月8日。
- 24) 鎮目雅人「銀行間ネットワークと金融市場統合：明治期日本を中心に」日本金融学会全国大会、鹿児島大学、2017年10月
- 25) Ishizu, M. “Financing the Atlantic trade during the early British industrialization” Bologna University, Italy, 2017.
- 26) Ryota Ishikawa, “Korean Merchants in Treaty ports in the Late Nineteenth Century”, *Korea in Global History: The Long Nineteenth Century and the Foreign Powers*, University of Heidelberg, 20th May 2017.
- 27) Shizume M., "Private Banks vs. Central Bank: Which Really Integrated the National Financial Market?" Economic History Society, Loyal Holloway, University of London, April 2017.
- 28) Sugihara K., “The Asian Miracle in Global History”, Symposium on the History of Asia in the 20th Century: Origins of Prosperity and Stability, Japan Institute of International Affairs, Tokyo: Hotel Okura Tokyo, 17th March 2017.
- 29) Sugihara K., “Trade Statistics and Price Index of Colonial India”, Workshop on ‘Intra-Asian Trade and the Rise of Regional Economy in the Long 19th Century’, Kyoto: Kyoto University, 13th March 2017.
- 30) Sugihara K., “Monsoon Asia, Industrialization and Urbanization: The Making and Unmaking of the Regional Nexus”, RIHN 11th International Symposium ‘Asia’s Transformations to Sustainability: Past, Present and Future of the Anthropocene, Kyoto: RIHN, 10th March 2017.
- 31) Sugihara K., “Monsoon Asia, Fossil-fuel-driven Industrialization and Environmental Sustainability”, Workshop on Global Economic and Environmental History, Cambridge, King’s College, 10th February, 2017.
- 32) 正木響「Guinée cloth (Indian cotton cloth and its imitation) exported to Western Africa」『京都大学東南アジア研究所・共同研究拠点 植民地体制下の東南アジアにおける地域経済の変容に関する比較史的考察』2017年1月29日
- 33) Sugihara K., “Emerging States in Global Economic History”, GRIPS ESP Workshop, Tokyo: GRIPS, 21st January 2017.
- 34) 石川亮太「開港場仁川における商業と華僑」『国際シンポジウム・チャイナタウンと北東アジアの開港場』神戸市、2017年1月21日。
- 35) Ishizu, M. “Atlantic trade and the development of payment systems in England: case of South Lancashire”, Financial Markets, Payment systems and Geography Workshop. Radboud University, Netherlands, 2016.
- 36) Nishimura T., “The Activities of the Hongkong and Shanghai Banking Corporation in the Dutch East Indies before the First World War”, 1st World Business History Congress, Bergen, 27th August 2016.
- 37) 石川亮太「明治期の朝鮮通漁と釜山水産会社」『朝鮮史研究会関西西部会 例会』大阪市、2016年6月25日。
- 38) 石川亮太「近代アジア市場と朝鮮()」『地域文化研究所第145回集談会』韓国ソウル市、2016年6月17日。
- 39) Sugihara K., “Varieties of Capitalism: An Asian Historical Perspective”, International Workshop on ‘Economic Change in Global History, 1500-2000’, London: LSE, 26th May 2016.
- 40) Ryota Ishikawa, “Pusan, Korea--1878/1903”, Workshop on Asian Trade Networks in the

Long 19th Century, Toyama, 21st May 2016.

- 41) Sugihara K., “Future Earth in Japan: A Humanities and Social Science Perspective”, 25th KAST (Korean Academy of Science and Technology) International Symposium on ‘Future Earth and Sustainable Development Goals in Asia’ Seoul: Plaza Hotel, 25th April 2016.

〔図書〕（計 16 件）

- 1) 杉原薫「グローバル・ヒストリーのなかの南アジア」, 長崎暢子編『南アジア史 4 近現代』山川出版社、2019 年。
- 2) Sugihara, K. and Kobayashi, A., “Changing Patterns of Sarawak Exports, c.1870 to 2013”, Soda, Ryoji and Ishikawa, Noboru (eds.), *Anthropogenic Tropical Forests*, Springer, 2019.
- 3) Sugihara K., “The Asian Path of Economic Development: Intra-regional Trade, Industrialization and the Developmental State”, in Takashi Shiraishi and Tetsushi Sonobe (eds.), *The Emerging States and Economies: Their Origins, Drivers and Challenges Ahead*, Sprinegr, 2019. pp.73-99.
- 4) Sugihara K., “Multiple Paths to Industrialization: A Global Context of the Rise of Emerging States”, in Keijiro Otsuka and Kaoru Sugihara (eds.), *Paths to the Emerging State in Asia and Africa*, Springer, 2019.
- 5) Nishimura T., “From Silver Standard to Gold Standard”, Nishimura T. and Sugawara A. (ed.), *The Development of International Banking in Asia*, Springer, 2019.
- 6) Sugawara A. and Nishimura T., “Introduction”, Nishimura T. and Sugawara A. (ed.), *The Development of International Banking in Asia*, Springer, 2019.
- 7) Sugihara, K., “Varieties of Industrialization: An Asian Regional Perspective”, in Riello, Giorgio and Roy, Tirthankar (eds.), *Global Economic History*, Bloomsbury Academic, 2018.
- 8) Sugihara, K., “Monsoon Asia, Intra-Regional Trade and Fossil-Fuel-Driven Industrialization”, in Gareth Austin ed., *Economic Development and Environmental History in the Anthropocene*, Bloomsbury Academic, 2018, pp.119-144.
- 9) 石川亮太「日清戦争前後の「朝鮮通漁」と出漁者団体の形成 朝鮮漁業協会を中心に」今西一・飯塚一幸(編)『帝国日本の移動と動員』大阪：大阪大学出版会、2018 年、21-50 ページ。
- 10) Shizume M., “Historical Evolution of Monetary Policy (Goals and Instruments) in Japan: From the Central Bank of an Emerging Economy to the Central Bank of a Mature Economy”, Battilossi, Stefano, Youssef Cassis and Kazuhiko Yago eds., *Handbook of the History of Money and Currency*, Springer, 2018.
- 11) Shizume M., “A History of the Bank of Japan, 1882-2016”, Tor Jacobson, Daniel Waldenström and Rodney Edvinsson eds., *Sveriges Riksbank 350 Years: A Central Bank in a World of Central Banks*, Cambridge University Press Studies in Macroeconomic History, 2018, pp.328-360.
- 12) Shizume M., “Financial Crises and the Central Bank: Lessons from Japan during the 1920s”, Isao Suto and Hugh Rockoff eds., *Coping with Financial Panics: Some Lessons from Financial History*, Springer Studies in Economic History, 2018, pp.131-148.
- 13) 西村雄志「インド」国際銀行史研究会(編)『金融の世界現代史』一色出版、2018 年、445-473 ページ。
- 14) Barker, H. and Ishizu, M. ‘Wealth-holding and investment’ in H. Barker (ed.), *Family Business during the Industrial Revolution*, Oxford: Oxford University Press, 2017, pp.16-47.
- 15) 西村雄志「明治初期の神戸における貿易金融の予備的考察」西村雄志(編)『研究双書 165 冊 近代アジアと関西経済』関西大学 経済・政治研究所、2017 年、65-84 ページ。
- 16) Hudson, P. and Ishizu M., *History by Numbers*, London: M. Bloomsbury, 2016, 360 pages. (ISBN 9781474294157)

〔産業財産権〕

出願状況（計 0 件）

取得状況（計 0 件）

〔その他〕

特になし。

6 . 研究組織

(1)研究分担者

研究分担者氏名：石川亮太

ローマ字氏名：Ishikawa Ryota

所属研究機関名：立命館大学

部局名：経営学部
職名：教授
研究者番号（8桁）：00363416

研究分担者氏名：正木 響
ローマ字氏名：Masaki Toyomu
所属研究機関名：金沢大学
部局名：経済学経営学系
職名：教授
研究者番号（8桁）：30315527

研究分担者氏名：加藤 慶一郎
ローマ字氏名：Kato Keiichiro
所属研究機関名：大阪商業大学
部局名：総合経営学部
職名：教授
研究者番号（8桁）：60267862

研究分担者氏名：鎮目 雅人
ローマ字氏名：Shizume Masato
所属研究機関名：早稲田大学
部局名：政治経済学術院
職名：教授
研究者番号（8桁）：80432558

研究分担者氏名：杉原薫
ローマ字氏名：Sugihara Kaoru
所属研究機関名：総合地球環境学研究所
部局名：研究部
職名：特任教授
研究者番号（8桁）：60117950

研究分担者氏名：石津 美奈
ローマ字氏名：Ishizu Mina
所属研究機関名：関西大学
部局名：経済・政治研究所
職名：非常勤研究員
研究者番号（8桁）：40348834

(2)研究協力者

研究協力者氏名：岩橋 勝 (Iwahashi Masaru)
研究協力者氏名：C.J. van Bochove
研究協力者氏名：A. Feenstra
研究協力者氏名：M. Metzler
研究協力者氏名：P. Hudson
研究協力者氏名：M. Calboni

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。